

## 9 月定例市議会開催 9 月 1 日～9 月 25 日

9 月定例市議会が開催されました。当局からは条例の一部改正 8 案件、人事案件 1 件、一般会計などの補正予算 8 案件のほか、令和 4 年度の決算認定 3 件(一般会計・特別会計、企業会計)、報告 1 案件の計 21 議案が出され、すべて原案どおり可決・認定などしました。

可決された議案の中から主なものを報告します。

### ◇一般会計補正予算（第 6 号）

- ・犬山応援団事業 137 千円  
市外転出後も引き続き犬山市を応援していただくため、登録者に対し情報提供する。
- ・市民交流センター（フロイデ）の構造体耐久性調査 2,310 千円  
施設の耐久性検証の為、コア抜き取り調査、鉄筋腐食調査等を行う。
- ・小中学校等備品等購入 6,500 千円  
母子寡婦会からの寄付金で、小中学校、子ども未来園・犬山幼稚園に備品等を購入
- ・内田テニスコート補修工事 4,730 千円  
透水性舗装により修復及び有孔管設置
- ・新橋爪・五郎丸子ども未来園整備事業

〈詳細は裏面記載〉

### ◇犬山市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症が「5 類」へと移行されたことに伴い、これまで支給されていた職員の防疫手当の特例が廃止されます。

### ◇犬山市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童クラブ職員である放課後児童支援について、これまで研修を終了していることが必須条件でしたが、研修終了が見込まれる場合



も、雇用可能となります。



### 9 月定例議会 私の一般質問（要旨）

9 月は、全国防災月間でしたので、今回は『防災、減災及び災害対応』とし要旨 7 点を質問しました。このうち、2 点をお伝えします。

- ①犬山市国土強靱化地域計画について
- ②感震ブレーカー設置補助制度について
- ③自主防災会配布物品について
- ④情報伝達について（中日新聞掲載記事から）
- ⑤災害協定について
- ⑥マイハザードマップ作成授業について
- ⑦総合防災訓練について

#### 要旨 感震ブレーカー設置補助制度について

**Q** 当市では、木造住宅に感震ブレーカーを設置する場合、補助制度が整えられています。この制度概要とこの数年間における補助実績をお示しください。

**A** 木造住宅を所有又は居住する個人を対象とし、購入・設置に要した費用の 2 分の 1、上限 5,000 円の補助を行っています。その他の条件として、取り付ける感震ブレーカーは、認証を有するものです。補助制度が始まった令和元年度から今までに計 14 件の補助を行っています。（再質問）

**Q** これまでに 14 件ということですから、まだまだ、感震ブレーカーの普及率は、低いことがわかりました。上限額を引き上げることと、木

造だけではなく、非木造の住宅(軽量鉄骨造など)に対しても、補助を拡充すべきと考えますが、当局の見解をお訊きします。

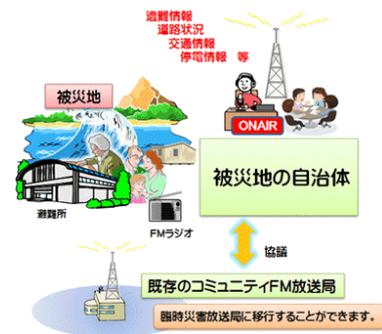
**A** 感震ブレイカーという器具自体の認知度が低いことから、補助申請数の低下に繋がっている可能性がありますので、より一層の普及啓発に努めてまいります。また、補助の拡充については、非木造住宅への補助対象拡充や補助上限額の引上げについて、検討していきます。

### 要旨 情報伝達について

**Q** 国が災害情報などを住民に伝える防災行政無線を、2025年度までに設置するよう求めていることに関連し、未整備の自治体を総務省が公表、全国1,672自治体のうち、69市町村が未整備で、県内では、犬山市のほか一宮市など4市が該当しています。情報伝達手段については、私も2019年にFMラジオを活用した同報系無線を提案させて戴きました。そこで、改めて、市の考え方をお尋ねします。

**A** 防災情報を一斉に市民へ伝える同報系システムのうち、一般的な屋外スピーカーによる方法は、雨天時には聞き取りにくいことや、整備費用に少なくとも約4億円程度の費用がかかり

ます。このため、市では現在、「あんしんメール」など複数の手段を用いていますが、伝達手段の拡充は以前より研究を進めています。これまで、栗栖、今井、池野などの山間地域では、FMラジオのつながりが悪く、中継塔の建設が必要と考えられ、導入には多額の費用が発生する課題がありました。防災ラジオの性能が上がっているため、今年7月に最新の機材を用いて山間地域を調査した結果、すべての地域で良好につながることが確認できました。このため、現在、コミュニティFMの電波を活用した防災ラジオ導入の検討をしており、関係機関とも協議を開始し、令和6年度の実施に向けて進めています。



これまでの一般質問や答弁については、ホームページからご覧いただけます。市政について判らないことや困りごとなどがございましたら、お気軽にご相談ください。



## 新橋爪・五郎丸子ども未来園整備事業 ---補正予算可決---

~ 補正予算額 16億1,645万円 このうち、建築工事費 1,518,000千円 ~



(注)パース図は、昨年度実施の基本設計におけるものを掲載していますので、実施設計とは多少異なります。

犬山市としては初となるZEB化(\*)を目指した建築物として、新未来園を整備します。

構造規模；鉄筋コンクリート造 平屋建て  
敷地面積；5,948.28㎡  
建築面積；2,372.78㎡  
延床面積；2,106.90㎡

橋爪子ども未来園と五郎丸子ども未来園の統合・移転事業として、来年1月頃から建築工事がいよいよ始まります。

(\*)ZEBとはNet Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。